

事前評価チェックシート

計画の名称： 快適で潤いのある環境の創造と活気あふれる”みなと”まちづくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）	○
II. 計画の効果・効率性 ③整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 ④定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 ⑤目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 ⑥事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性 ⑦円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等との合意形成を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 ⑧地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年08月30日

計画の名称	快適で潤いのある環境の創造と活気あふれる”みなど”まちづくり												
計画の期間	平成27年度～平成29年度(3年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	那覇港管理組合(普通会計分)												
計画の目標	安全性、効率性、利便性の高い活気あふれるみなどまちづくりを推進するため、臨港道路を整備し港湾利用者が快適で潤いのある環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	340	A	340	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H28末	H29末
1	緊急輸送路に位置付けられている臨港道路において、震災発生後の施設復旧にかかる日数の短縮を図る。 緊急輸送路における震災発生後の復旧日数短縮	85日	82日	80日
2	港湾と背後地域との連絡を図るとともに、円滑な交通に資するため整備促進を図る。 那覇港国際コンテナターミナルから新港ふ頭地区シャーシ置き場までの輸送時間短縮	4分	2分	2分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
港湾事業	A02-001	港湾	沖縄	那覇港管理組合 (普通会計分)	直接	那覇港管理組合	—	—	臨港道路港湾2号線改良	道路改良 (L=1, 800m)	那覇市	■	■	■			280	2.2	策定済	
	H30より重点																			
	A02-002	港湾	沖縄	那覇港管理組合 (普通会計分)	直接	那覇港管理組合	—	—	臨港道路新港1号線整備	道路新設 (L=170m)	那覇市	■						60		未策定
	H26以前 : 1-A1-4																			
											小計						340			
											合計						340			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29		
配分額 (a)	108	108	90		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	108	108	90		
前年度からの繰越額 (d)	8	95	2		
支払済額 (e)	21	201	39		
翌年度繰越額 (f)	95	2	53		
うち未契約繰越額 (g)	90	2	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	77.58	0.98	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	<p>工事に伴う交通規制に際し、対向車線において対面交通処理を行う予定であったが、当該位置における別件工事において長期間の遅延が生じ、その影響で本土から搬入する必要のある主要建設機械の年度内の確保が困難となったことから、工事発注を行えず予算の大部分を繰り越ししたため。</p>				

(参考図面) 港湾整備

